

<委員の意見>

- ・非常に高度な内容。番組構成が巧み、よく取材している。ナショジオらしい番組。但し、一見様々な宗教を平等に扱っているようで、啓示宗教への偏りがあるのではないかと感じる部分もあった。
- ・難しいテーマを扱った番組だが、オリジナルの対談を入れることで身近に感じられる構成になっていたと思う。各宗教の掘り下げはもっと必要かと思う。
- ・モーガン・フリーマンがこの重たいテーマをどう扱うのかという点自体で興味を引かれる、その時点で既に半分成功していると言える番組。
- ・世界が宗教対立の問題に直面している現在にこの様なテーマで番組を構成するということは大変なことだと思う。
- ・日本での放送にあたっての工夫・配慮として、石坂さんの解説は上手くやったなという印象だが、著名人を起用した対談は地上波がよく使う手法なので、他のアプローチを考えても良かったと思う。日本にない文化を紹介する際はローカライゼーションの掘り下げが必要。日本の放送業界をあとと言わせる手法、新しい切り口を妥協なく考えてほしい。
- ・「WITH 誰々」という形式のドキュメンタリーは日本ではあまり見ない、英語圏のドキュメンタリーという印象だったので、対談番組の部分で日本に突然引き戻された感じがあった。
- ・難しい単語が出てくるので吹き替えだと初見では理解できない箇所もあった。
- ・モーガン・フリーマンが好きなので肉声のナレーションで聞きたかった。耳で聞いても理解の難しい単語が多い番組は字幕の方が向いているのではないか。
- ・多くの日本人同様、宗教に普段接しない、関心がなかったので大変勉強になる番組だった。
- ・モーガン・フリーマンが単なる番組のホスト役に留まらず、エグゼクティブ・プロデューサーとしてこのような番組に関わっている背景を説明してほしい。
- ・日本では馴染みのないテーマかもしれないが、日本だからこそこういうテーマをフラットな視点で扱えるという強みもあると思う。
- ・見る立場によって受け取り方が多様な番組だと思うが、斜に構えて見ていたとしても惹かれる部分がある番組、もう一度見たいと思わせる番組。
- ・高い視聴率が取れる番組ではないかもしれないが、非常に良い番組。ブランドのプレゼンスを確立するためにも、しっかりとターゲティングを行って、ナショジオの固定ファンを増やす努力をしてほしい。

<事業者回答>

- ・視聴率としては大成功という結果ではなかったが、話題性のあるテーマで世界的には反響も大きく、先日、続編の制作が決定した。次シーズンの放送の際に、今回頂いた貴重なご意見を活かして行きたい。
- ・ローカライゼーションにあたり字幕版も制作したが、吹替の方が良いという意見もあり、今回は吹替版をご審議頂いた。吹替の場合でも内容が難しい場合はテロップでの説明を補足するなどの工夫を今後検討したい。

(3)FOX スポーツ&エンターテイメント番組審議

『UFC 英雄伝説:マイケル・ビスピンの宿命』についてご審議頂きたい。

<委員の意見>

- ・UFC に対する知識が全くない状態で見したが、分かりやすくよくまとまっており、見ごたえのある内容だった。もっと彼の内面について、また将来の展望についても聞きたかった。
- ・競技そのものではなく人に焦点を当てた番組だったので知識がなくても見やすかった。格闘技は女性ファンも意外と多いので、人物にフォーカスした番組制作は良いと思う。
- ・ビスピン個人が魅力的。UFC への事前知識はなかったが、見終わってビスピンに感情移入していたので良い番組構成だったのではないかと思う。
- ・番組を通して何を伝えたいのかが明確になっていなかった印象。基本的にはファンでないと届かない内容だと思う。未だ日本には根付いていないスポーツなのでアプローチを工夫した方が良い。
- ・難しく考えずに見れる番組。テンポが良いので、退屈しない。獲得した賞金を何に使うのかなど、お金の話題が頻繁に出てくるが日本のスポーツメディアの番組とは異なり興味深かった。
- ・ドキュメンタリーそのものはとても良い出来。格闘技は人によって好き嫌いが分かれるので、展開の仕方には配慮が必要かと思う。
- ・格闘技は個人的には苦手なジャンルだが、ビスピンが共感を生む人物であり、ドキュメンタリーとしては上出来な内容。

<事業者回答>

頂いたご意見を今後の番組制作、編成に活かしていきたい。格闘技は野球やサッカーほどメジャーではないが、コアなファンが多いので、今後も FOX スポーツ&エンターテイメントのメインコンテンツの1つとして UFC の放送を展開していきたい。

以上